

大石工作所株式会社

環境配慮と持続可能なプラントメンテナンスサービスの提供

★取り組みのポイント

- ① プラントエンジニアリングとして先進的なCFPの算定
- ② 本社工場の再生可能エネルギー転換による温室効果ガス排出量の削減
- ③ えひめゼロカーボンチャレンジ企業認定制度の取得

会社概要



創業

1938（昭和13）年4月

業種

製造業・建設業

社員数

74名（2026年時点）

事業内容

化学プラントで用いる圧力容器や搬送用機器などの製造・据付・保全等

事業紹介

人間力・現場力・技術力・組織力・革新力を融合し、生産設備の改造・改修工事やプラントの安全・安定操業を守るためのプラントメンテナンスを提供する。



★環境PRポイント

本社工場におけるグリーンファクトリー化



事業活動マテリアリティ

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



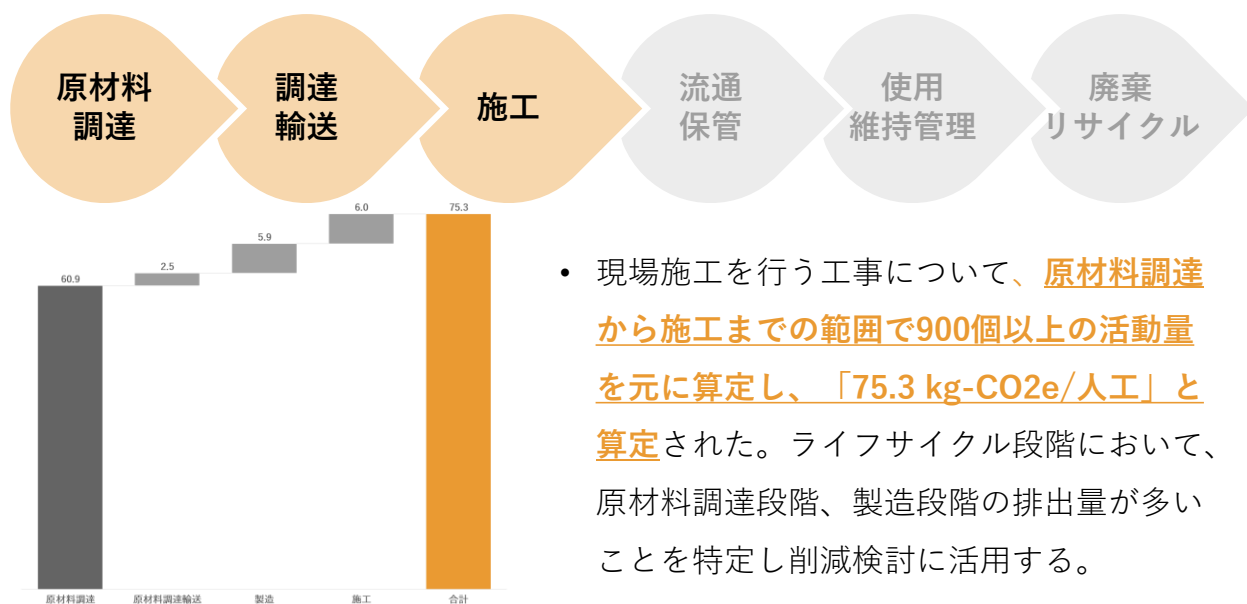
13 気候変動に
具体的な対策を



2020年6月からSDGsに本格的に取り組み、自社の重要なマテリアリティとして、「環境配慮」「持続可能な生産」を重要な課題があるテーマとして、再生可能エネルギー転換によるグリーンファクトリー化を実施している。



施工含む工事のCFP算定



- 現場施工を行う工事について、**原材料調達から施工までの範囲で900個以上の活動量を元に算定し、「75.3 kg-CO2e/人工」と算定**された。ライフサイクル段階において、原材料調達段階、製造段階の排出量が多いことを特定し削減検討に活用する。

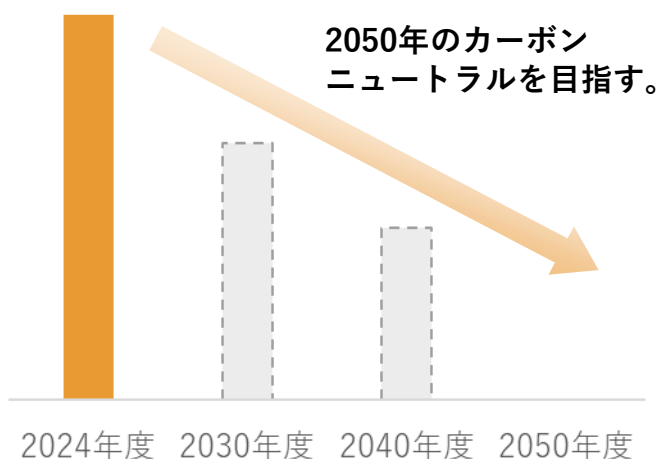
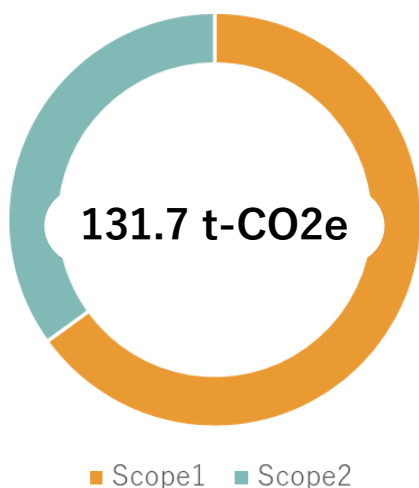
★ポイント

自社工場での製造のみではなく、取引先での施工時に発生する温室効果ガス排出量も推計し評価。

愛媛ゼロカーボンチャレンジ企業認定制度の取得



- 本事業では、製品CFPのほかに組織排出量も算定・削減目標を設定し、えひめゼロカーボンチャレンジ企業認定制度を取得した。2050年までの脱炭素化を目指し、削減努力を継続する。



- EV車の導入により自社が使用する化石燃料の燃焼による排出量 (Scope1) 再エネ転換により自社が調達する電気の使用に伴う排出量 (Scope2) を削減する。

※CFP：商品やサービスのライフサイクルを通して排出される温室効果ガスの排出量をCO2に換算したもの。Carbon Footprint of Productsの略。

※算定結果は外部支援に基づき独自に実施したもので、第三者認証に基づく情報ではありません。

※本算定の一部の数値には仮定を置いた状態で算定を実施しているため、工事固有の値でない部分があります。

自社工場の省エネへ向けた活動

15の削減策

非生産設備

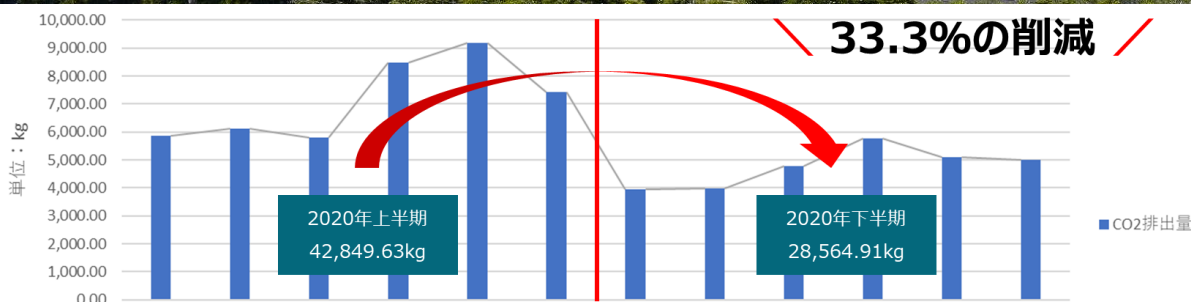
10

生産設備

5

- 非生産設備・生産設備において、15の削減施策の実行可否を検討し、今後の削減活動に活用し、省エネ推進のPDCAサイクルを実施し、企業価値向上に活動を繋げ実施する。

取組み事例



- 2022年1月から本社工場の屋根に太陽光パネルを設置し、省エネの取組み・再エネ転換を推進している。2020年上期対比、CO2排出量20%削減の目標に対して、目標を大きく上回る約33%の排出量を削減した。



事業への参画を通じて、自社の製造工程におけるCO₂排出量を可視化し、改めて環境負荷低減の重要性を実感しました。今後は本取組で得た知見を活かし、より環境に配慮したものづくりを推進するとともに、地域産業の持続的発展にも貢献していきたいと考えています。